

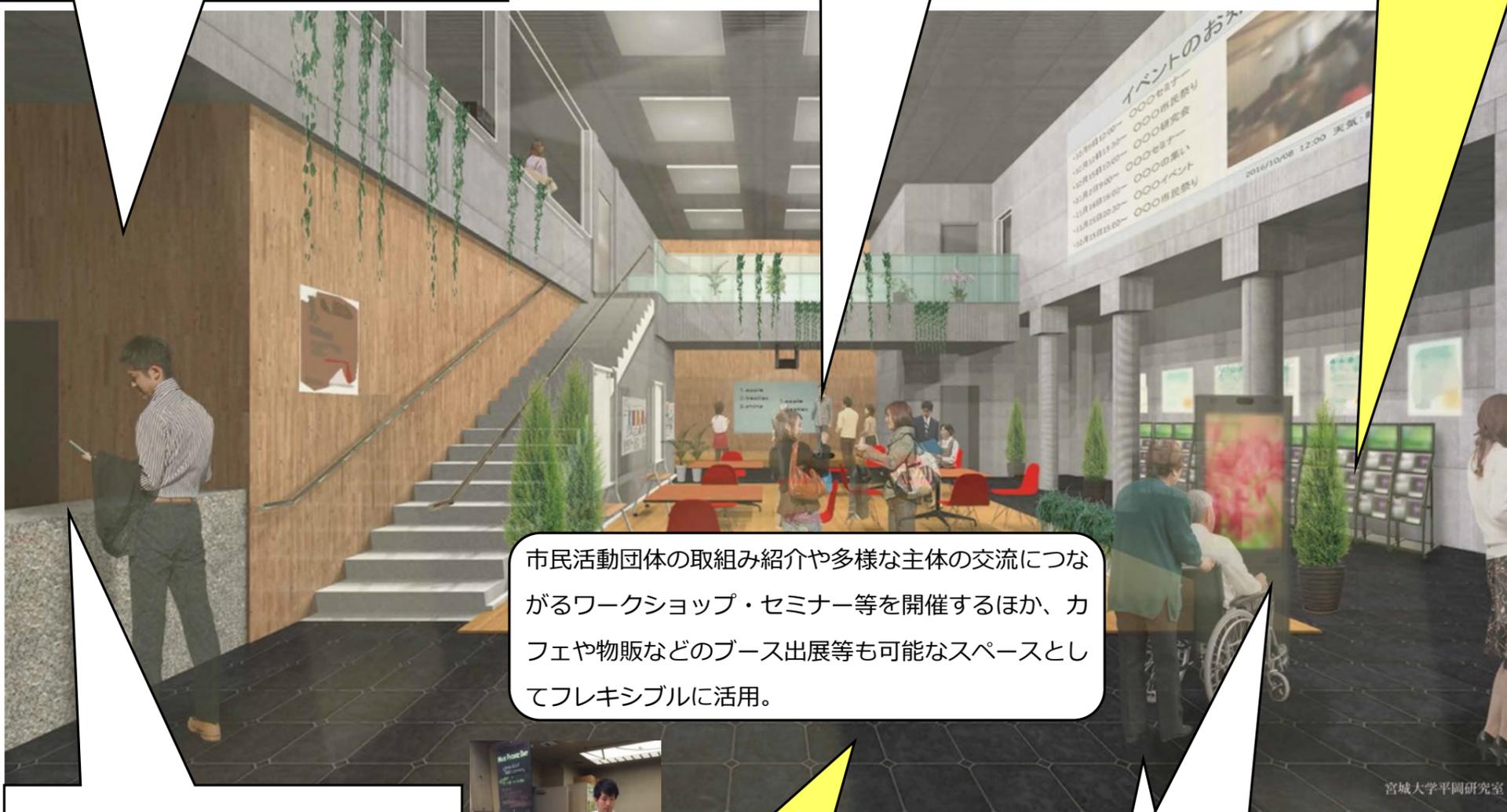
1F

(1) 温かみがあり多様な主体が集う空間整備①
壁面、床に木材を使用し、家具什器も木製のものも多く取り入れるなど、温かみがあり、居心地の良い空間に。

(2) 総合案内・受付カウンター①
相談・予約受付カウンターは奥（現在の図書コーナー）に移動し、印刷機・PC利用の手続きなどもスムーズに。

(3) 情報発信・提供機能の強化①
市民活動チラシや団体のニュースレターを並べて配架。QRコードによりボランティア情報などへのリンク案内も掲示するほか、サポセンホームページにおけるリンク先も充実させる。

(4) 温かみがあり多様な主体が集う空間整備②
期間ごとに様々なテーマで選んだ書籍・雑誌を1階に配架。その他の書籍等はバックヤードに収納し、必要に応じて貸出等の対応を行う。



市民活動団体の取組み紹介や多様な主体の交流につながるワークショップ・セミナー等を開催するほか、カフェや物販などのブース出展等も可能なスペースとしてフレキシブルに活用。

(5) 総合案内・受付カウンター②
貸室の鍵・備品等の貸し出しや、館内総合案内を行うカウンターを新設。
→学都仙台コンソーシアム事務室は7階へ



(7) 情報発信・提供機能の強化②
ホワイトボード等で団体や利用者からの意見や情報をやり取りできる掲示板を設置。

(8) 情報発信・提供機能の強化③
モニター等の設置により、館内の利用状況や市民活動団体等の情報発信・提供を強化。

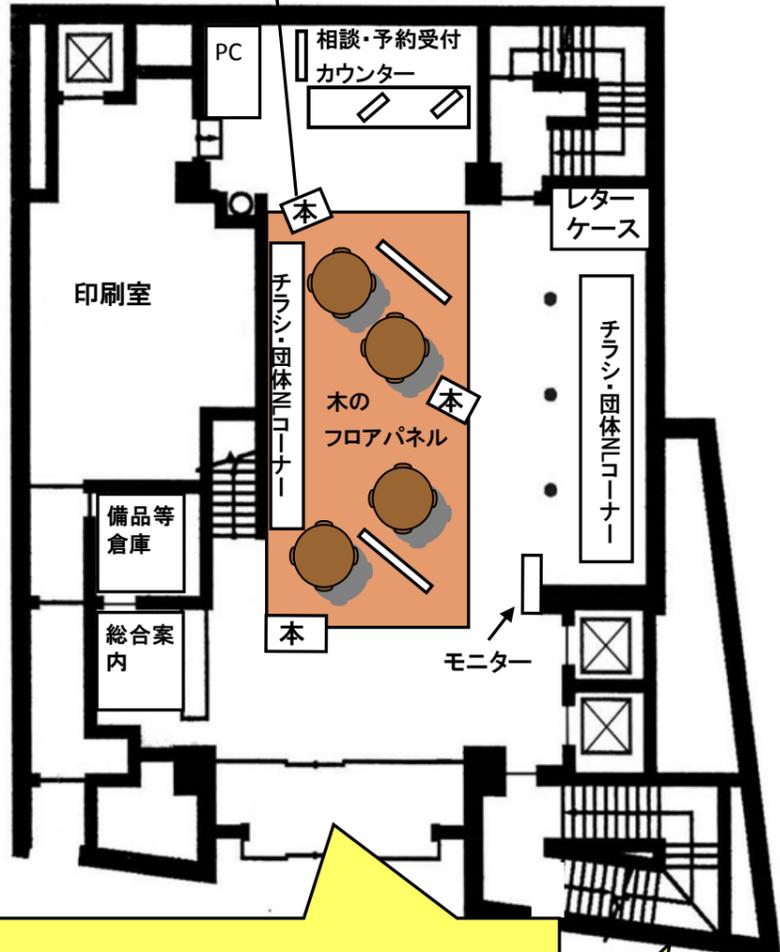
(10) 情報発信・提供機能の強化④
風除室を市民活動団体による活動紹介などの展示が行えるスペース（ギャラリー）として活用する。

(6) 温かみがあり多様な主体が集う空間整備③
常設のカフェを設置するには、調理設備や衛生面に関する整備を行う必要がある。また、近隣のカフェ出店状況やサポセンの利用者数などから、高い採算性は見込みにくい。
イベントの開催時には、コーヒースタンドや福祉事業所等による出店を行うことで、居心地の良さと新たな賑わいを創出する。



(9) バリアフリー環境の整備等
高齢者・障害者の方もできるだけ快適にご利用いただけるよう、バリアフリー環境の整備とスタッフによるフォローを実施。

(11) 認知度・視認性の向上
外壁サインにLEDバックライトを設置し、夜間の視認性を向上させる。また、施設情報やイベント情報を表示する案内板を設置し、通行者による施設の認知度向上を図る。
ソフト面では、市民活動団体や他機関との連携を強化し、外部イベントへのスタッフの参加等を通して、サポセンのPRを積極的に行う。



2F



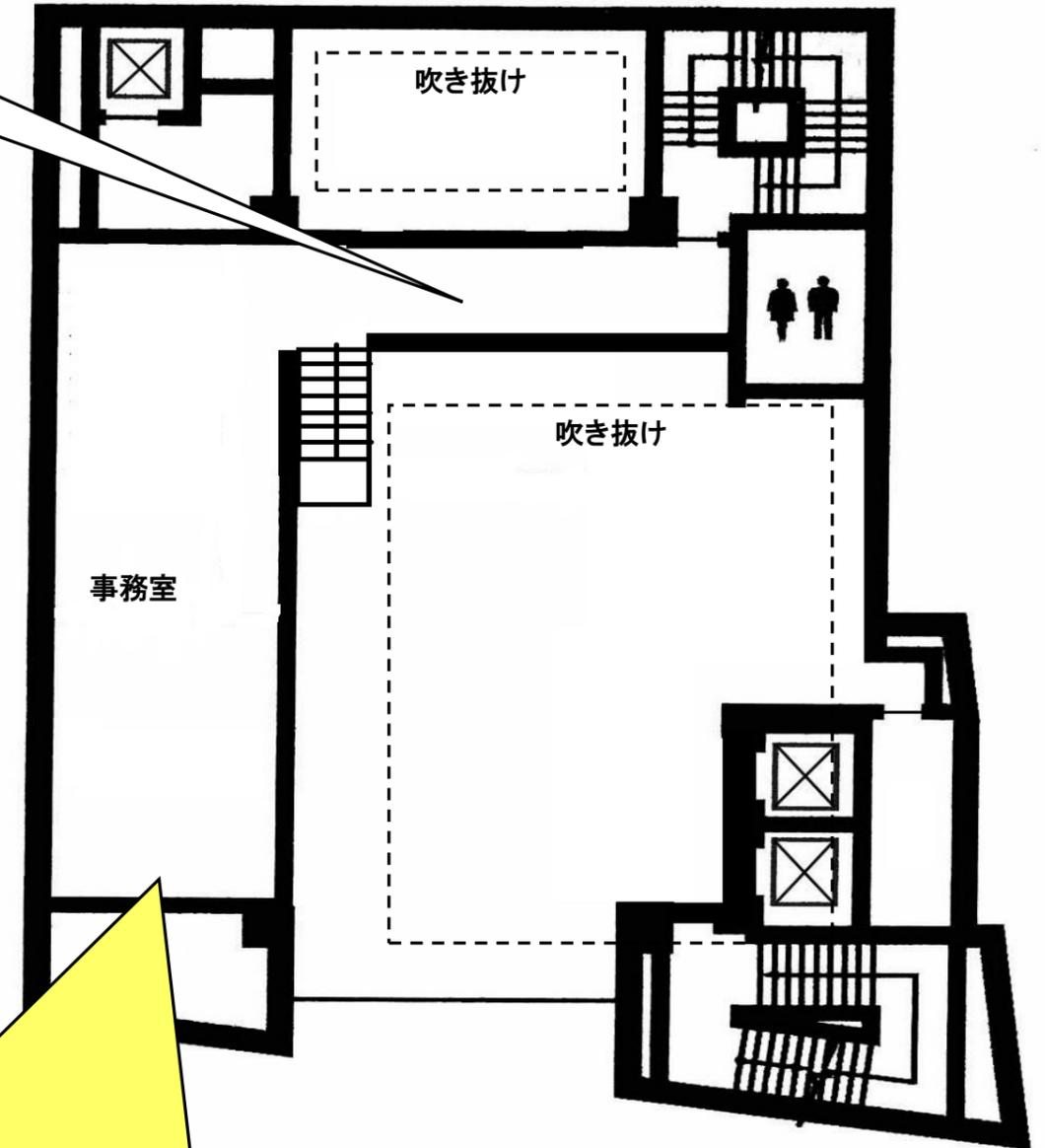
(1)温かみがあり多様な主体が集う空間整備④

1階交流スペースと一体感のある雰囲気づくりのため、渡り廊下や事務室外観を含めた吹き抜け空間を装飾するなどして活用する。



階段と手すり

2F

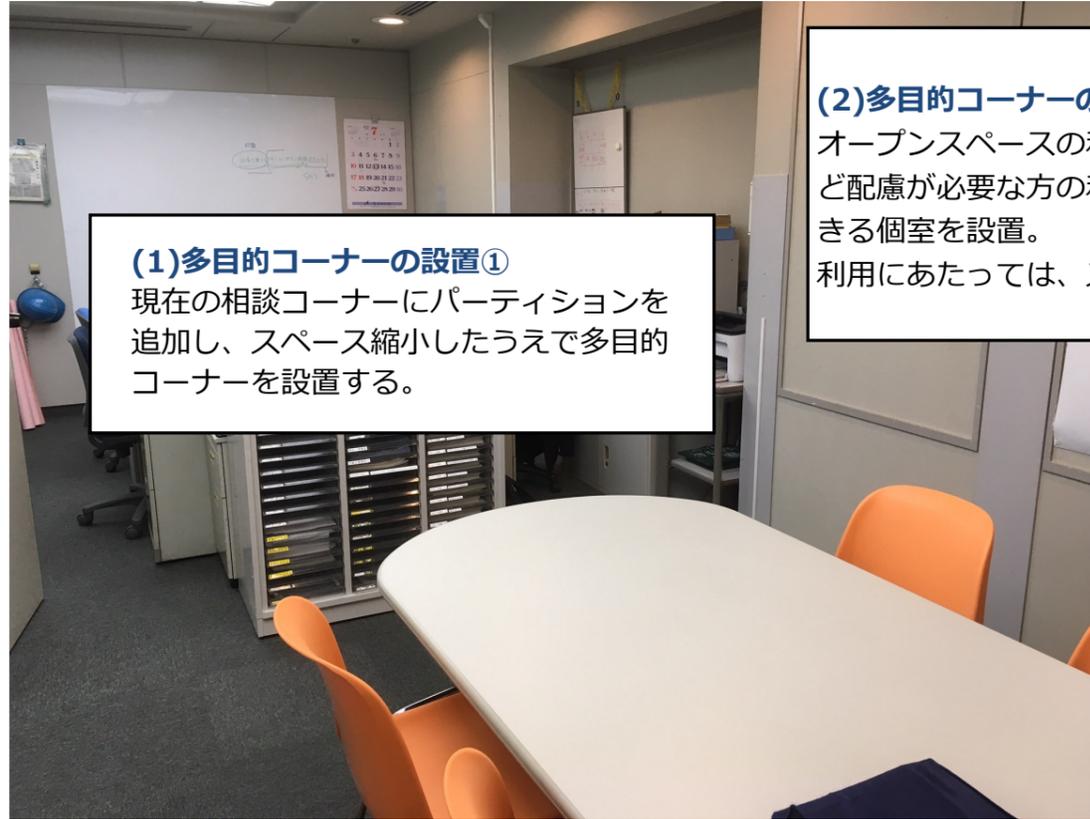


裏手エレベーターの開口部。
間口が狭く車いすの利用は難しい。

(2)1、2階の一体的活用について

1、2階の一体的活用のために必要となるバリアフリー化にあたっては、エレベーターの設置が想定されるが、法令上の基準等をクリアするための工事内容について、より精緻な検証が必要であり、エレベーター設置の可否についての判断は、現時点では難しい状況である。

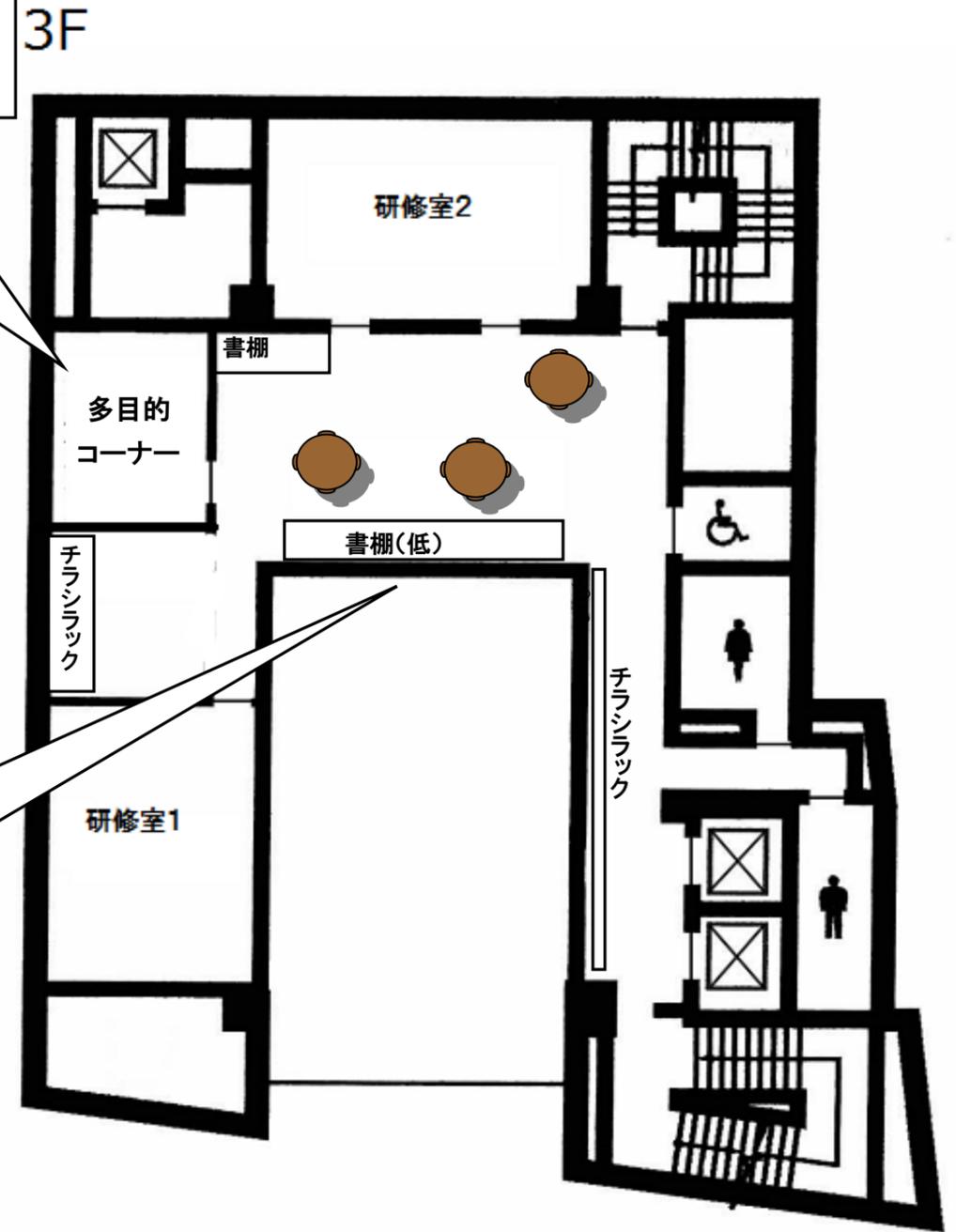
3F



(2)多目的コーナーの設置②
オープンスペースの利用が難しい個別相談対応や、授乳など配慮が必要な方の利用等、状況に応じて様々な利用ができる個室を設置。
利用にあたっては、スタッフにお声掛けいただく。



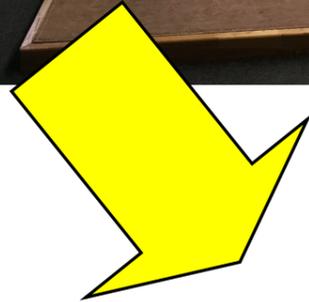
(3)温かみがあり多様な主体が集う空間整備⑤
1階から団体情報ファイル等を移動。



4F



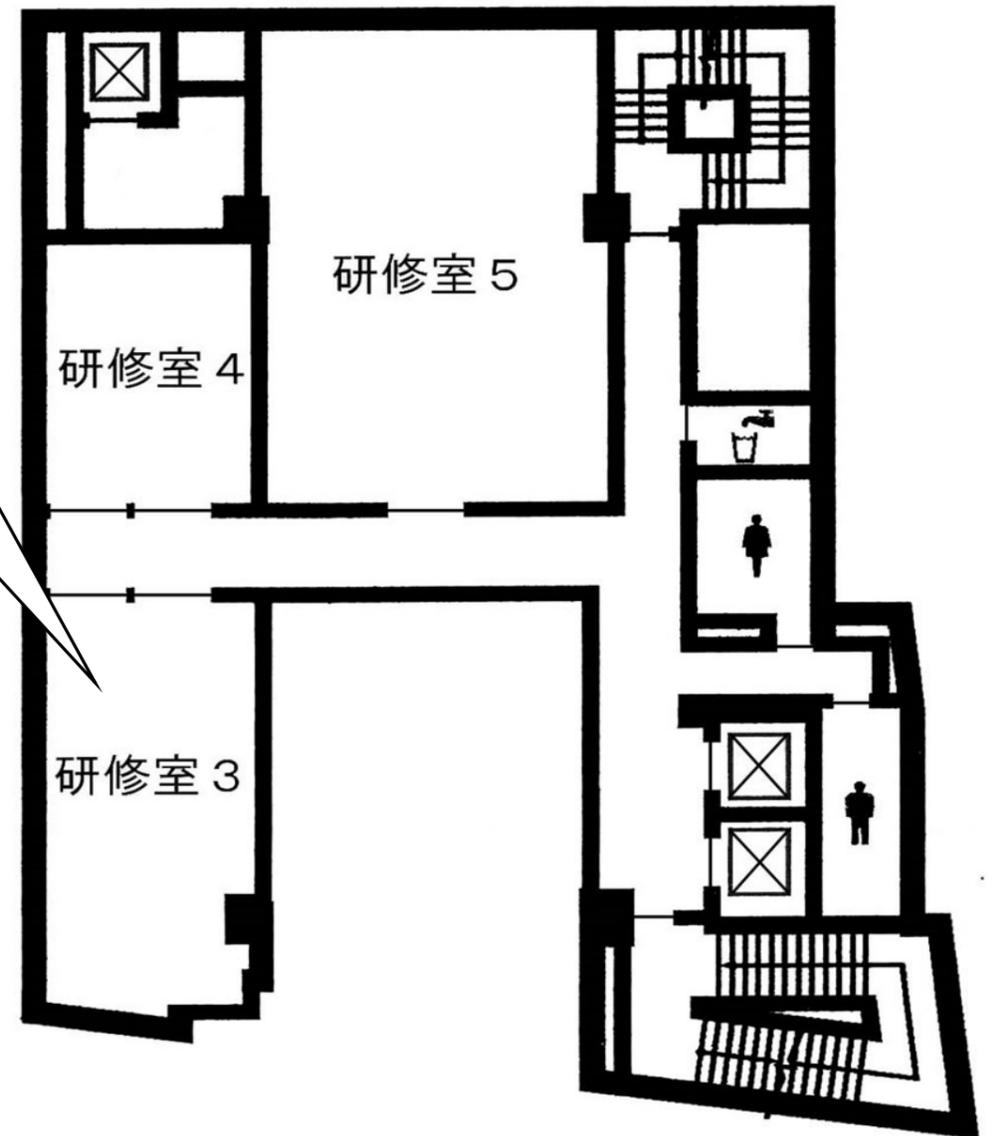
(1)研修室3の変更
床面を全面土足禁止に改修し、託児室としても利用できる環境を維持しながら、高齢者を中心にニーズの高い座椅子を導入するなど、幅広い利用者により快適に使用いただける環境を整備する。



改装後イメージ



4F



5F



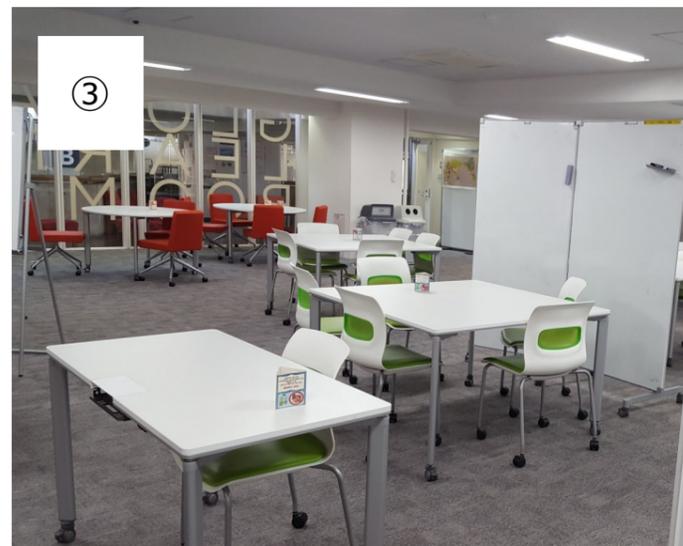
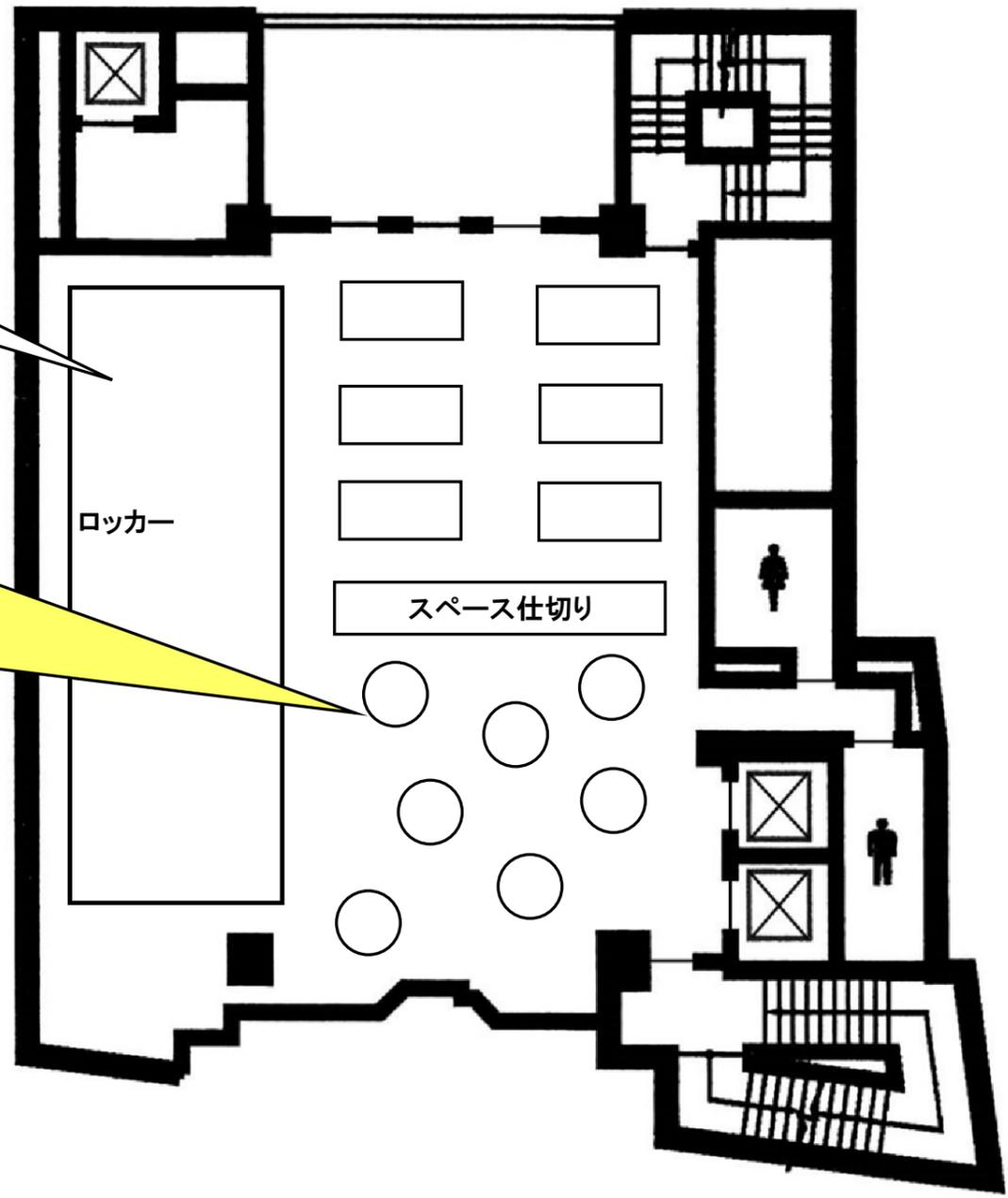
現在の交流サロン



(1)交流サロンの充実①
利用者ニーズの高いロッカー（大）を増設する。

(2)交流サロンの充実②
ホワイトボードや液晶モニター、組み換え可能なイス・テーブルなど、クリエイティブな思考や議論を助ける什器を設置。また、要望の多い電源コンセントや1~2人での作業席などの充実を図る。
1階同様、団体間の情報交換や交流が図れるよう、掲示板を設置する。

5F



改装後イメージ参考

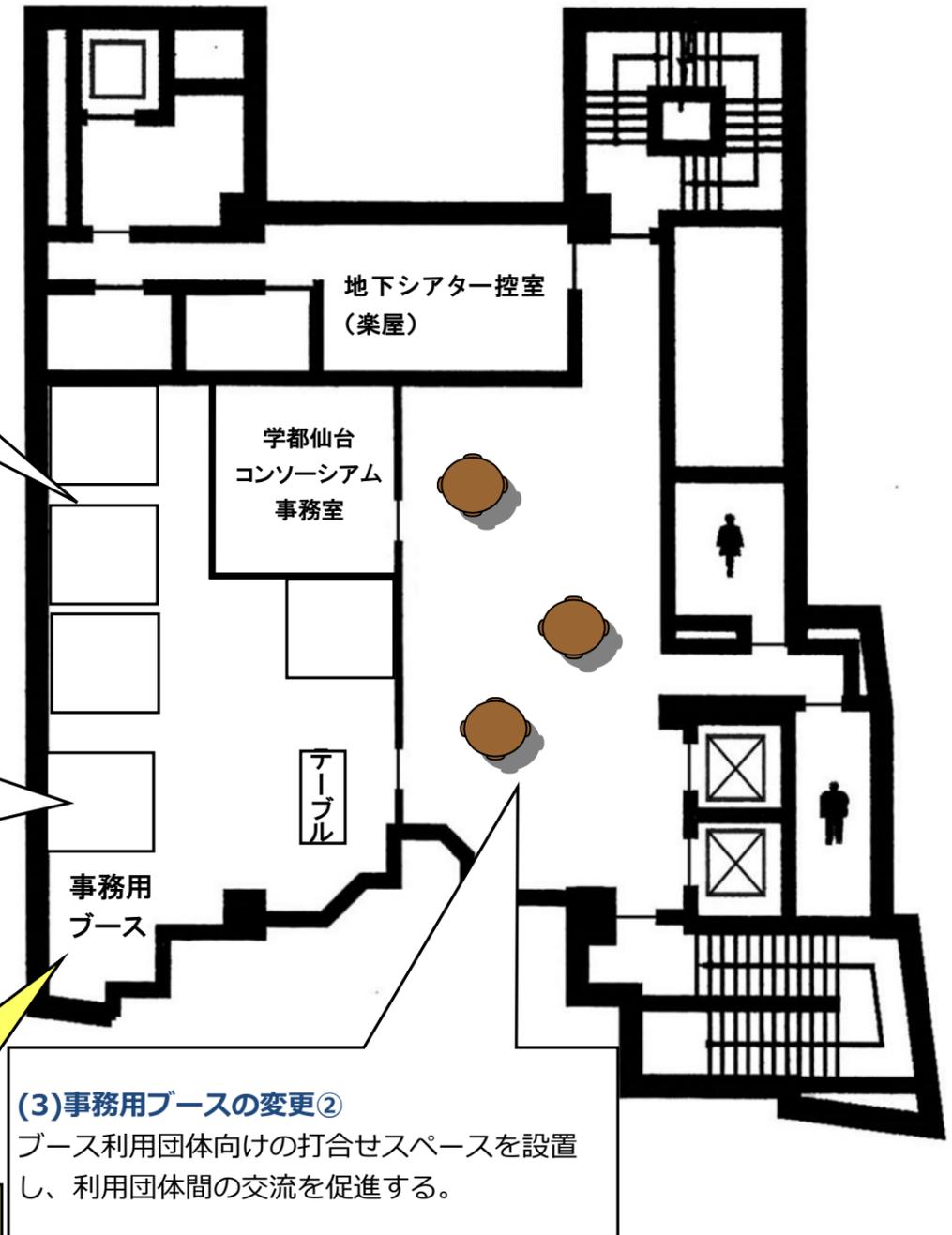
- ①、②INTILAQ 東北イノベーションセンター
- ③ 東北大学附属図書館 アクティブラーニングスペース

7F



(1)総合案内・受付カウンターを設置③
1階の総合カウンター設置により、学都仙台コンソーシアム事務室を移動する。

7F



(2)事務用ブースの変更①
学都仙台コンソーシアム事務室の移動に伴い、暫定的にブース数を5に削減するが、今後の申込み状況等に応じて、スペースの拡大にも対応できるようにする。
経年劣化した什器の入れ替え等により、ブースの環境改善を図る。

(4)事務用ブースの入居募集
募集時期や回数などを見直し、より応募しやすい環境づくりに取り組む。